

友の会通信

2009
Vol.
20

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～

一 博物館視察研修会一

～ 柏木博物館・尖石縄文考古館～

総勢39名の研修の旅は、11月2日(日)に実施されました。早朝は肌寒い日でしたが、天候に恵まれ快適な一日となりました。標高2千メートルを超える八ヶ岳の峠越えは霜柱と残雪の中、全山、から松の黄葉でおおわれた景観を楽しみながら通過、目的地「柏木博物館」に到着、参観しました。

三葉虫やアンモナイトをはじめとする多くの化石が生きていた時代の姿を連想できるように工夫、また、鉱物と人間とのかかわりでの展示にも関心を惹きました。まさに、神秘の世界にタイムスリップしたようでした。

次に訪れた「尖石縄文考古館」は、90軒ほどの住居址を含む縄文時代中期の遺跡で公園化された広大な敷地内にありました。館内には国宝「縄文のヴィーナス」重文「仮面の女神」をはじめ多くの発掘物が展示され、縄文時代の生活を偲ばせるように工夫されていました。体験等できる学習コーナーも充実したものでした。

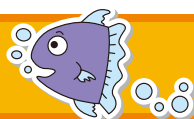
地球の誕生から縄文時代までの研修と盛り多い一日で、身も心もリフレッシュしました。

(20-170 柚木 郁)



参加者の声

sankasha no koe



■初めて視察研修に参加しました。場所も初めて見るところでとても勉強になりました。また子供と一緒に参加したいです。

(20-072 宮澤和弘)

■一日に二つのはくづつ館に行けたので楽しかったです。けしきがきれいなきせつでよかったです。

(20-074 宮澤拓未)

■柏木博物館では館の方から話を聞くことができ、十分楽しむことができました。今後の企画も楽しみにしています。

(20-096 金子正明)

■珍しい鉱物をたくさん見ることができて、とてもよかったです。素晴らしい天気だったので、山の風景も楽しむことができました。今後も、視察研修を続けてほしいと思います。

(20-011 岡野弘行)

■柏木博物館ではアンモナイトやいろいろな化石のこと、尖石考古館では、はにわや土ぐう、土器のことがよくわかりました。

(20-106 浦野真衣)

■柏木博物館では、「ロードクロサイト」という赤くて、とてもきれいな鉱物におどろきました。なぜかという、今までに見たことのない色をしていたからです。

(20-105 浦野晃一)

■自然史博物館友の会視察研修ということで、両館とも特別に説明をしていただき、よく理解できました。特に、尖石縄文考古館では、普段さわることのできない貴重な土器にもふれさせていただき、とても有意義な一日でした。(20-104 浦野有紀子)

■柏木博物館そのものを知らなかったなので、参加できてよかったです。お子さんの参加が多く、よいことだと思いました。

(20-92 徳江 紀)

■柏木博物館では初めて見るものが多く、感激いっぱいでした。また、紅葉がとてもきれいで、存分に楽しむことができました。

(20-93 徳江興江)

■柏木博物館では、館長さんの話を聞きながら化石や鉱物の見学ができて、いろいろと勉強になりました。また、尖石縄文考古館でも細かい解説をしてもらうとともに、国宝の「縄文のビーナス」など間近に見ることができてよかったです。(20-171 下 幸夫)

■いつも楽しく参加しています。子供たちと楽しい一日を過ごすことができました。これからもいろいろなイベントに参加したいと思います。

(20-20 倉金秀行)

■柏木博物館は少し寒かったのですが、館長さんの話はとても楽しく聞かせてもらいました。限られた時間の中ではありましたが、予定外の展望台などにも行けてよかったです。来年も楽しみに待っています。

(20-21 倉金由起子)

■柏木博物館でしか見られないアンモナイトをはじめとする化石が見られてよかったです。また、この時期は紅葉が見られるので時期的にもちょうどいいです。

(20-22 倉金香菜子)

■とても楽しかったです。特に、アンモナイトの展示が印象的でした。ほかにもアンモナイトの化石をとってみたいです。

(20-23 倉金正幸)

■てんじしてあるものがいっぱい見れてよかったです。魚が魚を食べているかせきがほしかったです。

(20-24 倉金遙子)

■全体の移動距離のわりにゆっくり視察することができたと思います。また、皆さんの日頃の行いがよいのでしょう。年に数回くらいかと思うような天候に恵まれ、とても楽しく過ごすことができました。また参加したいと思います。(ボランティア 茂木清美)

■柏木博物館がとてもよかったです。感動ものでした。次回の視察研修にも参加したいと思います。(ボランティア 横田 昇)

天体観望会～冬の星空を観察しよう～

平成21年1月25日(日)



1月25日午後6時、「こんなに天気に恵まれたことはなかった。」と誰もが言うほどの晴天のもと、天体観望会が開かれました。ドーム内と外を高桑さんと杉山さんがそれぞれ担当され、参加者は2班に分かれて行動しました。

オリオン座、大犬座、子犬座、双子座、おうし座といった代表的な冬の星座に加えて、開始時間が早かったおかげで、ペガサス座、アンドロメダ座など秋を彩った星座が天頂近くにあり、まことに華やかな星空でした。

屋外の望遠鏡・双眼鏡、ドーム内の40cm望遠鏡がフル稼働し、アンドロメダ星雲、オリオン星雲など、肉眼では視力のよい人でないと見えないようなもの、スバルのように細部まではなかなか数えられない散開星団、さらには肉眼では全くわからない三重星など、一度に見つのが惜しいほどたくさんの天体を観察することができました。寒かったけれども充実した時間でした。

(20-127 角田寛子)



参加者の声 sankasha no koe

■とても素晴らしい条件のもとで観測ができました。特に、シリウスや月のように欠けている金星を見ることができて感動しました。(20-21 倉金由起子)

■すごく天気がよくて、とても見やすかったです。シリウスなどがとてもきれいでした。(20-22 倉金香菜子)

■空がよく晴れていて、冬の星がいっぱい見られてよかったです。(20-23 倉金正幸)

■長い時間、星を見ることができてよかったです。(20-24 倉金遙子)

■体で角度をはかる方法や星座早見の使い方が参考になりました。2回目の参加でしたが、「たまには星空を眺めるのも悪くない。」と改めて思いました。(20-138 岡野宏巳)

■天候が安定していて、とてもよい時期の観測会でした。雲や風がなく、良好な天体観測でした。(20-139 岡野伸子)

■空気が澄んでいて、星が見やすかったです。写真で見たことがある天体を実際に見ることができてよかったです。(20-141 岡野峻土)

■さむかったけど、いろいろな星座がわかって楽しかったです。(20-142 岡野真土)

■星がとてもきれいに見えたが、周りの市街照明と建物で星が制限されてしまったことが残念でした。(20-108 二瓶良介)

■冬は空気が澄んでいて、たくさんの星を観ることができると、時期的にもよいと思いました。(20-109 二瓶和子)

■凍りつく空に輝くオリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンでつくる冬の大きな三角形はきわだち、宝石をちりばめたような星空は心まで洗われるようでした。(20-150 堀越友子)

■一緒に参加していたお子さんたちのユニークなコメントを聞きながら、寒さも忘れてとても楽しいひとときでした。(20-117 北川真理子)

■博物館の屋上で、星が近くに見えたからよかったです。季節ごとにいろいろな星が見られてうれしいです。今度は春の星が見たいと思いました。(20-106 浦野真衣)

■観察するにはちょうどいい時間で、星を詳しく観ることができました。(20-105 浦野晃一)

■絶好の観望会日和で、いろいろな星を見ることができてよかったです。家では、星の図鑑を広げて親子で楽しみました。(20-104 浦野有紀子)



友の会会員からのおたより



～私が見つけた自然～ 『アフリカマイマイ』

期日：平成15年の夏

場所：沖縄

これは5年前の夏、地元の知人の案内で沖縄戦跡巡りをした時の拾い物です。見つけた所は、人形の左が首里城・トーチカ周辺、右が伊江島の城山登山口、手前が読谷村チビチリガマ入口付近です。奥の物は巨大で、さすが南国は違うなと我が子と一緒に夢中で拾ったのですが、後で調べたところ、これはアフリカマイマイという名で、人が外から持ち込み、沖縄戦を機に野外に広がり、農作物を食い荒らし、人に感染症をもたらしたため、駆除の対象になったという悲しいカタツムリでした。(人形：ゴーヤマンの背丈3.5cm)



(20-117 北川真理子)

～私が見つけた自然～ 『あっ!カモシカだ。』

期日：平成20年10月28日

場所：四万川ダムの下

昨年の秋、友人と四万温泉から四万川ダムにトレッキングした時のことです。紅葉を眺めながら人家や土産店の点在する坂道を登って行くと、突如「あれヤギ?」と友人が叫んだ。路傍の叢に逃げるのではなく、のっそりと立っていた。それは、ニホンカモシカだった。特別天然記念物であるカモシカとの遭遇に一同は興奮した。私カメラを向けると友人が、「カモシカさんポーズ」とおどけた声で言った。大きな目できょとんと振り向いた。地元の方の話だと、時々姿を見せるとのことでした。



(20-150 堀越友子)

「私が見つけた自然」応募中

会員の皆様へ 「私が見つけた自然」に応募してみませんか。

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、美しい自然を目にしたとき、その瞬間をカメラで記録し、その写真(またはデジタル写真)とその時のエピソードを添えて自然史博物館へ封書またはメールでお送りください。友の会通信で紹介させていただきます。応募をお待ちしております。

■送り先 〒370-2345 富岡市上黒岩 1674-1
群馬県立自然史博物館 友の会
「私が見つけた自然」係

〔メールで送る場合〕
E-mail: hukyu@gmnh.pref.gunma.jp

イベント紹介



第32回企画展

「わかった!かわった?群馬の自然」

会期:2009年3月14日(土)~5月6日(水)
場所:自然史博物館企画展示室

当館が、1996年の開館以来行ってきた県内の生物や地形・地質に関する調査・研究の成果を紹介します。調査風景や、発表後の新たな展開など、研究の楽しさ・ダイナミックさも紹介します。

第33回企画展

「シーラカンス」

会期:2009年7月11日(土)~8月30日(日)
場所:自然史博物館企画展示室

長い間恐竜とともに絶滅したと考えられていた「生きた化石」シーラカンスの進化や生態について、多くの化石標本などを展示して紹介します。世界最大のシーラカンス化石復原骨格も展示されます。

8月までの主なイベント

5 May

- ・友の会総会
- ・友の会講演会
(講師として長谷川善和館長を迎え、化石に関する話を予定しています。)



『友の会』の更新手続きと新規入会手続きを

年会費

- ① 一般会員 ————— 3,000円
- ② 高校生・大学生会員 — 2,000円
- ③ 小学生・中学生会員 — 1,000円
- ④ 家族会員 ————— 5,000円
- ⑤ 賛助会員 ————— 10,000円

入会による特典

- ① 博物館入館無料
- ② 博物館からの情報配布
- ③ 友の会行事等への参加
- ④ ミュージアムショップの割引

★現会員の方は引き続き入会をお願いします。
さらに、お知り合いの方に新規入会をお勧めいただければ幸いです。

NEW 出版物の紹介



「ぐんまの自然 ハンドブック No.1」

販売開始 2009年3月14日(土)

ミュージアムショップにて販売をいたします。

賛助会員 (平成20年9月~12月末現在)以下の法人の方に趣旨賛同いただきました。ありがとうございました。

■(株)又カベ (1口)

博物館利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後5時
(ただし入館は午後4時半まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)・年末年始
- 観覧料 一般500円 高校・大学生300円
企画展開催中は別料金
※中学生以下・身体障害者手帳・療育手帳・または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

編集 後記

過日、ある中学校の野外学習のお手伝いをしてきました。内容は化石採集と水生昆虫の観察でしたが、生徒が生き生きとして意欲的に取り組む様子を見て、あらためて野外学習の重要性を感じました。「友の会」が実施してきている植物観察会、野鳥観察会、化石採集会、天体観望会などのフィールド活動は、更に工夫を重ねより充実したものにしていく必要があると思われました。
森平利政(友の会編集委員)